



日野自動車株式会社

アニュアルレポート2004

2004年3月期

# K A I Z E N

日野自動車では、“カイゼン”活動の浸透を通じて、次なる飛躍をめざします。

	今まで	変わったこと	これから
国内事業	新車販売中心	バリューチェーン指向	提案営業強化、サービスブランド化
海外事業	アジア中心	北米、中国市場の攻略	全世界
トヨタ事業	日本中心	フレーム付き車両のグローバル・シャシー・サプライヤー	海外でのユニット受注拡大
PE事業	汎用中心	他社車載用	車載用、汎用の拡大



日野自動車は、1942年の設立以来、商用車メーカーとして60年の歴史をもちます。現在、日野グループは、トラック、バス、各種エンジン、補給部品の製造・販売、そしてトヨタ自動車からの小型商用車・乗用車の受託生産を手がけています。

日野は現在、2010年度に向けた長期ビジョンにおいて「世界販売15万台・世界5指レベルに入る」ことを目標に掲げています。

そして、この目標を達成するため、「収益構造の改革」「物づくり改革」「トヨタ事業の構造改革」「固定費の効率化」を柱とした中期経営計画を推進中です。

#### 将来予測表明に関する特記

このアニュアルレポートの記載内容のうち、歴史的事実でないものは、日野自動車の将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測表明です。これらの将来予測表明には、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因が含まれており、その要因によって日野自動車の実際の成果や業績、実績などは、記載の見通しとは大きく異なることがあります。その要因には、(1)日野自動車の主要な事業領域における経済情勢、為替レート、法律、規制、政策、または政治情勢の変化、(2)タイムリーかつ顧客に受け入れられる新商品を開発する日野自動車の能力・機能を取り巻く状況の変化、(3)日野自動車の商品市場または部品・材料・資材等を調達する地域における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が困難である状況、なども含まれています。



# At the Forefront of Innovation

## 目次

- 2 経営者からのメッセージ
- 10 役員一覧
- 11 社会的責任への取り組み
- 13 財務分析
- 17 5年間の財務サマリー
- 18 連結財務諸表
- 23 連結財務諸表の注記
- 33 和文アニュアルレポートの発行について
- 34 株式情報
- 35 連結子会社および関連会社

北米専用車の生産に取り入れられた「日時計生産方式」は、円形のターンテーブルを約1時間かけて回転させながら、外周からフレームやエンジン、運転台を取り付け、トラックを完成させる生産方式です。従来の考え方にとらわれない日野独自の“KAIZEN”の象徴的な存在といえます。